

抗インフルエンザウイルス薬について

抗インフルエンザウイルス薬は、症状発症後 48 時間以内に使用することで体内でのインフルエンザウイルスの増殖を抑制する効果が期待される薬です。

製品名(例)：タミフル(一般名 オセルタミビルリン酸塩)、リレンザ、イナビル、ゾフルーザ

<発症後 48 時間以内の理由について>

インフルエンザウイルスは上気道粘膜に感染後、症状発現の 24 時間前から急速に増加し、症状発現から 48～72 時間後に最も増殖します。この増殖を上記の抗インフルエンザウイルス薬を服用して抑えることで、症状が軽くなり短期間での回復が期待できます。



もし症状が現れたら、早めに医療機関を受診しましょう。

(参考) 公益社団法人 福岡県薬剤師会 質疑応答

https://www.fpa.or.jp/johocenter/yakuji-main/_1635.html?blockId=40960&dbMode=article

<今年の流通管理について>

ここ数年、例年に比べてインフルエンザ罹患者は少なかったものの、今年はインフルエンザが流行しています。治療には抗インフルエンザウイルス薬を用いますが、薬の総供給量はコロナ流行前の約 1.5 倍が予定されています。ただし、厚生労働省は市場の混乱を避けるために全国の医療機関に大量注文を控え、分割納入に協力するよう求めています。

薬不足による規制ではないので、皆さま安心してくださいね。

(参考) 厚生労働省 抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について

<https://www.mhlw.go.jp/content/001165383.pdf>

患者さんの適切な治療の一助になりますことを願っております。

※ 掲載内容は発行当時の情報です。
※ 転載、複製、改変等は禁止です。